

## 第1回在宅看護スキルアップ(出前講座)研修実施報告

開催日時：平成29年6月30日(金)16時00分～17時00分

開催場所：介護老人保健施設エルダリーガーデン

研修内容：ストーマ周囲皮膚トラブルの原因と対処方法～演習を含む～

講師：徳島県立中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 小松 美智子 氏

参加人数：13名

本日の内容

1. ストーマとは？
2. あると便利なアクセサリー
3. ストーマ装具交換時の注意点
4. ストーマ合併症について
5. 皮膚トラブルの種類と対処方法
6. 演習：ストーマトラブル対処法  
事例1～事例4について、アセスメント・  
対処方法を検討する



<講義風景>

### 【ストーマ装具交換時の注意点】

1. ストーマ装具の剥離と観察
  - ・皮膚と面板の間に指をすべらせて皮膚を軽く押さえながら、ゆっくり丁寧に剥がす。  
**仰臥位⇒正中創側**から **座位⇒頭側**から剥がす
  - ・剥がした面板の裏側の溶解・膨潤の方向、排泄物の付着の有無を観察する
2. ストーマ・周囲皮膚の洗浄
  - ・付着した便や粘液を拭き取る（のり残りが無いように）
  - ・泡立てた洗浄剤で包み込むように周囲皮膚を洗浄  
**外側⇒内側、清潔部位**から洗浄、ゴシゴシ擦り洗いはしない
  - ・洗浄剤を残さないよう拭き取る（シャワーで流す）
  - ・乾いた不織布ガーゼ等で水分を拭き取り、自然乾燥
3. 面板ストーマ孔のカット
  - ・型紙を利用して面板の裏側にマジックで印をつける
  - ・術後の浮腫が改善すれば**小腸/尿路は1～2mm、結腸は2～3mm大きく**、面板をカットする
4. ストーマ装具の貼付
  - ・ストーマ周囲の皮膚保護剤を指で密着させ、手の平で軽く押さえてなじませる
  - ・1～2分間は手の平で温める/すぐに活動しない
  - ・腹壁のしわが自然に伸びた状態で貼付する
  - ・便破棄主体者の状況に応じて装具の向きを工夫する

【ストーマ周囲皮膚トラブルの原因と対処方法】

トラブル発生部位	皮膚障害の原因	皮膚障害の対応
<b>ストーマ近接部</b> ：発赤 びらん 潰瘍 ストーマ粘膜皮膚接合部位から1.0～1.5 cmの部位	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 排泄物による<b>化学的</b>刺激 → 面板カット孔が大きいのか → 装具の交換間隔が長い？ → 装具の密着が悪い、便がもぐる</li> <li>● 練状皮膚保護剤のアルコール成分</li> <li>● 凸面装具の<b>持続的な</b>圧迫</li> </ul>	面板のカット孔： ストーマ粘膜サイズ+2 mm
<b>皮膚保護剤貼付部</b> ストーマ近接部を除いた皮膚保護剤貼付部位	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 皮膚保護剤の刺激、アレルギー</li> <li>● <b>物理的</b>刺激 → 装具<b>交換間隔</b>が不適切 <b>(頻回の貼付と剥離)</b></li> <li>→ 装具の剥離手技が不適切</li> <li>● 閉塞環境下における皮膚反応 → 皮膚の浸軟 → 感染など</li> </ul>	<b>頻回な漏れの改善のために</b> ◎ 便性状コントロール ◎ 装具調整：凸面装具 ◎ 短期用装具で毎日交換 ストーマ外来受診を考慮
<b>皮膚保護剤貼付部外周部</b> 皮膚保護剤貼付部外側 2 cm程度部分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 面板や皮膚保護剤辺縁の物理的</li> <li>● 粘着剤や固定用絆創膏の刺激</li> <li>● 発汗や皮膚の浸軟</li> </ul>	固定用絆創膏の刺激 ◎ 肌に優しいテープに変更 ◎ テープ貼付前に被膜剤を併用



<モデルを使用した演習風景>

【参加者の感想】

- ・ストーマを造設している利用者があるため、今後の参考になりました
- ・ストーマのトラブルについて学べ、今後利用者の状態に合わせて考えたい。
- ・写真などが多く、視覚的にわかりやすかったです。